

令和元年度指定管理者制度活用事業 評価シート（こども文化センター）

1. 基本事項

|      |  |        |               |
|------|--|--------|---------------|
| 施設名称 | 麻生区第4グループ(片平・岡上)   | 評価対象年度 | 令和元年度         |
| 事業者名 | ・事業者名 NPO法人児童育成会コッコロ<br>・代表者名 菅原 敬子<br>・住所 川崎市麻生区岡上120-4 | 評価者    | 青少年支援室長       |
| 指定期間 | 平成31年4月1日～令和6年3月31日                                      | 所管課    | こども未来局 青少年支援室 |

2. 事業実績

| 利用実績                       | H30                        |         | R1         |            | H30     |       | R1 |  |
|----------------------------|----------------------------|---------|------------|------------|---------|-------|----|--|
|                            | 1 片平こども文化センター<br>①年間延べ利用者数 | 34,649人 | 30,347人    | ②年間延べ利用団体数 | 687団体   | 717団体 |    |  |
| 2 片平小学校わくわくプラザ<br>①登録者数    | 347人                       | 390人    | ②年間延べ利用者数  | 18,295人    | 17,916人 |       |    |  |
| 3 栗木台小学校わくわくプラザ<br>①登録者数   | 426人                       | 409人    | ②年間延べ利用者数  | 23,412人    | 18,307人 |       |    |  |
| 3 はるひ野小学校わくわくプラザ<br>①登録者数  | 446人                       | 498人    | ②年間延べ利用者数  | 26,002人    | 25,119人 |       |    |  |
| 1 岡上こども文化センター<br>①年間延べ利用者数 | 22,247人                    | 19,499人 | ②年間延べ利用団体数 | 276団体      | 367団体   |       |    |  |
| 2 岡上小学校わくわくプラザ<br>①登録者数    | 129人                       | 111人    | ②年間延べ利用者数  | 8,294人     | 6,059人  |       |    |  |

  

| 収支実績  | 単位:円        |  |
|-------|-------------|--|
|       | 1 収入        |  |
| 指定管理料 | 104,795,011 |  |
| その他収入 | 234,000     |  |
| 補償金   | 1,841,541   |  |
| 合計    | 106,870,552 |  |
| 2 支出  |             |  |
| 人件費   | 73,142,748  |  |
| 管理費   | 20,075,049  |  |
| 事務経費  | 5,186,860   |  |
| 本部繰入金 | 5,127,996   |  |
| 合計    | 103,532,653 |  |
| 3 差引  | 3,337,899   |  |

  

|           |  |
|-----------|--|
| サービス向上の取組 | 子どもたちの意見や要望を聞いて行事や日常に反映させるため、月1回のこども会議や毎日のこんにちは会、意見箱を活用しており、提案や意見は全員で話し合い、トラブルの共有、ルールの見直しと新たなルール作りにより、子どもの主体性を重視した参加型の健全育成を行うことでサービスの向上を図っている。 |
|-----------|--|

3. 評価

| 分類   | 項目  | 着眼点  | 配点 | 評価段階 | 評価点 |
|--|---|--|----|------|-----|
| 事業の推進  | 事業推進及び事業成果  | 「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。                    | 10 | 3    | 6   |
|  |   | 「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。                   |    |      |     |
|  |   | 「こども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。       |    |      |     |
|  |   | 「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成が図られているか。      |    |      |     |
| (評価の理由)<br>・仕様書・事業計画書に基づき、こども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。<br>・片平こども文化センターでは、新たに「ナイトだがシアター」を実施、多くの方が参加できるように日時設定を行い、上映作品は事前から利用者からアンケートを取り、参加世代に合わせ決定している。その他の映画上映の行事などへにもヒーターの参加も多く、こども文化センターの地域に根付いた行事として定着化している。<br>・岡上こども文化センターでは、地域の企業や岡上市民館分館、いこいの家と連携した「スタンプラリー」を行い、子どもに役割を持たし、こどもからも積極的に大人に話しかけるような仕組みを設定し、クイズやゲームなど楽しみながら地域の大人との多世代との交流を行い、子どもと地域の大人との顔の見える関係づくりに一躍を担っている。<br>・片平こども文化センターでは、日々の水やりをはじめ、種まき、草むしり、土の整備、地元の農家の方を含む地域の大人が多く参加し、園芸作業を通じ利用者が多世代交流を行っている。  |   |  |    |      |     |
| サービス向上及び業務改善   | 利用者ニーズ及びセルフモニタリング   | サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。                 | 10 | 3    | 6   |
|  |   | 利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。                     |    |      |     |
|  |   | セルフモニタリングについて、適切に実施しているか。                      |    |      |     |
|  |   | 利用ニーズの把握、セルフモニタリングの実施の結果、業務改善につながっているか。        |    |      |     |
|  | 苦情等への対応   | 利用者からの苦情や指摘事項、意見への対応などが適切に行われているか。             | 5  | 3    | 3   |
|  | 特別な配慮を要する利用者への対応  | 特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。                   | 5  | 5    | 5   |
|  | 学校及び行政機関との連携  | 事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体、地域住民、施設等との連携がなされているか。 | 10 | 3    | 6   |
| 施設・事業の広報   | 施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。   | 5  | 4  | 4    |     |
| わくわくプラザの充実   | ①わくわくプラザ多世代交流促進事業、②学習タイム、③わくわくプラザメール配信サービス、④「地域の寺子屋事業」との連携(実施していないわくわくプラザについては、実施に向けた検討・調整等)について取り組み、わくわくプラザ事業の充実を図っているか。 | 5  | 4  | 4    |     |
| (評価の理由)<br>・意見箱、行事ごとのアンケート、日々の利用者とのコミュニケーションにより利用者ニーズの把握を行っているほか、子ども達の心の悩みの受け口として独自に「ぶーさんポスト」を設置し、巡回相談員による対応をはじめ子ども達のところに寄り添う仕組みがある。また、毎月の理事会での施設ごとの業務報告による運営状況のチェックなど定期的にセルフモニタリングを行っている。<br>・苦情等対応について、発生時の受付体制が整備されており、職員全員に理解されているとともに苦情等の対応が適切に行われている。<br>・特別な配慮を要する利用者への対応について、校長経験およびスクールカウンセラー経験のある巡回相談員を配置しており、各施設月2回訪問を行い、利用者への対応および施設スタッフへの助言を行っている。また、障害者について、研修に参加して職員の実質向上を図っており、岡上小わくわくプラザでは、配慮の必要な児童について保護者、放課後デイサービス事業所、学校と日々の情報交換を図り、状況を全スタッフで共有して組織的に対応をしている。その結果、きめ細かく児童に対応できる体制が確保できている。<br>・学校及び行政機関との連携について、小学校についてはわくわくプラザ開室前に担当職員が挨拶に行き、事務連絡等を含め丁寧に連絡調整を行っており、学校との関係性向上に努めているほか、低学年児童の利用者の担当教員との年2～3回の情報交換会を行って児童の処遇に活かしている。<br>・施設・事業の広報については、中高生だよりについて麻生総合高校を新たな配布先としたほか、ホームページについて、ソフトウェアを変更してスタッフの操作性とウェブアクセシビリティを強化してより見やすいものに刷新し、多くの情報配信を行うなど積極的に広報を行っている。<br>・わくわくプラザの充実については、わくわくプラザ多世代交流促進事業として、地域の方を呼び季節に合わせた絵本を使用した月1回の読み聞かせ事業を実施。話を聞く習慣(作)につながるなど効果があったほか、学習タイムについて静かに集中する時間として、学習の時間だけではなく、クロスワードパズルやワードサーチなど幅広い内容に取り組むこととした結果、わくわくプラザでの過ごし方の一部として定着している。 |   |  |    |      |     |

|   |   |   |    |   |   |
|---|---|---|----|---|---|
| 組織管理体制  | 子ども文化センターにおける適正な人員配置                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>「仕様書」において定める職員配置の最低基準が遵守されているか。⇒①館長1名配置、②スタッフリーダー2名以上配置、③館長とスタッフリーダーの勤務を割り振らない日が重ならないように配置、④利用時間を通じて常勤職員1名以上配置⑤常勤職員配置1名の場合パートナーを配置、⑥12時30分から18時まで常勤職員2名以上配置(常勤職員を配置できない場合、常勤職員1名につき、パートナー2名の配置)</li> </ul> | 5  | 2 | 2 |
|   |   | 「川崎市契約条例」が遵守されているか。   |    |   |   |
|   | わくわくプラザにおける適正な人員配置                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>「仕様書」において定める職員配置の最低基準が遵守されているか。⇒①長期休業日等の開室時間の延長対応、②放課後児童健全育成事業の対象児童以外の利用児童概ね20名につき、チーフサポーター1名以上配置、③参加児童数の多い時間帯に学校の特別教室等を使用して、複数箇所に分かれて事業を実施、④わくわくプラザ事業に、月～金の9:30から18:00まで常勤職員を配置</li> </ul>                | 5  | 3 | 3 |
|   |   | 「川崎市契約条例」が遵守されているか。   |    |   |   |
| 職員の研修体制   | 職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。                |   | 10 | 4 | 8 |
|   | 職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。               |   |    |   |   |
| 個人情報等の取扱  | 法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。 |   | 5  | 3 | 3 |
| <p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども文化センターの適正な人員配置について、仕様書等に基づく職員配置がなされていない部分があったため指導を行っている。</li> <li>わくわくプラザの適正な人員配置については仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。</li> <li>職員の研修体制について、個人の受講を促進するための研修補助の制度があるほか、館長が主導し、各スタッフに必要な研修を受けるよう指導している。また、職員が受講した研修については毎日の職員会議で報告することとなり、特に重要と思われる研修内容についてはミニ研修として館内研修として職員内に共有化している。</li> <li>個人情報等の取扱について、個人情報保護に関する規定・マニュアル等や管理・監督体制が整備されており、個人情報保護等に関するトラブルはない。</li> </ul> |   |   |    |   |   |
| 適正な業務実施   | 施設・設備の保守管理                                | 安全な施設利用のため、施設や設備(AEDを含む)の保守・点検を適切に行っているか。   | 5  | 3 | 3 |
|   |   | 建築物定期点検及び建築設備定期点検の実施が適切に行われているか。  |    |   |   |
|   |   | 備品等の管理が適切になされているか。  |    |   |   |
|   | 利用者の安全確保                                  | 利用者の安全を確保するための体制が整っているか。  | 10 | 3 | 6 |
|   |   | 事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。   |    |   |   |
|   |   | 事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。   |    |   |   |
|   |   | 施設の防犯対策に工夫がなされているか。   |    |   |   |
| 災害発生時に備えた対応が図られているか。  |   |   |    |   |   |
| 災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。   |   |   |    |   |   |
| <p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設・設備の保守管理について、適切に点検等を行い、必要に応じた維持・補修が行われており、片平子ども文化センターでは、当年度は職員が「遊戯室」の床クロスを張り替えを行い安全な状態に修繕した。</li> <li>利用者の安全確保について、安全管理マニュアル・衛生管理マニュアル・危機管理マニュアルを整備しており、事務室内に保管し、いつでも確認できるようにしている。また、施設に次亜塩素酸水生成装置を配備し、装置で生成した消毒液を用いて遊具や多くの方が手を触れるドアノブなどの消毒行為を徹底して行っている。</li> <li>防犯対策及び災害時の対応について、防犯対策や災害等の発生に備え、対応マニュアル等が整備されているとともに職員に周知がなされている。</li> </ul>                          |   |   |    |   |   |
| 収支計画・実績   | 適切な金銭管理・会計手続                              | 法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。   | 5  | 3 | 3 |
|   | 効率的・効果的な支出                                | 「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。  | 5  | 3 | 3 |
|   |   | 効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。  |    |   |   |
| <p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適切な金銭管理・会計手続について、法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされている。</li> <li>効率的・効果的な支出について、必要なサービス水準を確保した上で、「事業計画」に沿った適切な支出がなされている。</li> </ul>   |   |   |    |   |   |

#### 4. 総合評価

|       |    |       |   |
|-------|----|-------|---|
| 評価点合計 | 65 | 評価ランク | C |
|-------|----|-------|---|

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

|   |
|---|
| <p>利用者アンケートや意見箱、日常のコミュニケーションによって子どもや保護者の率直な声を聞けるよう様々な努力を行っており、子ども達の心の悩みや相談の窓口として巡回相談員を設置した対応をはじめ子ども達のところに寄り添う仕組みが醸成されている。また、岡上子ども文化センターでは、近隣の公共施設や福祉施設、民間企業なども含む連携により行事を企画・実行するなど、地域に根差した施設運営が行われている。</p> |
|---|

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

|   |
|---|
| <p>今後も、地域社会全体で子どもを見守り育てる、安全・安心な環境整備や職員のスキル向上に努め、学校、行政、地域団体等と共に連携しながら地域づくりを進めることで、職員と子ども、地域団体等が互いに顔の見えるの関係を築き、小中高生から高齢者まで、多世代にとって居心地のよい場となるよう努めること。人員配置については早急に仕様書の要件を満たすよう改善すること。また、新型コロナウイルスの感染予防のための「新しい生活様式」を踏まえた子ども文化センター及びわくわくプラザの運営に取り組むこと。験ができる育成事業に努めること。</p> |
|---|